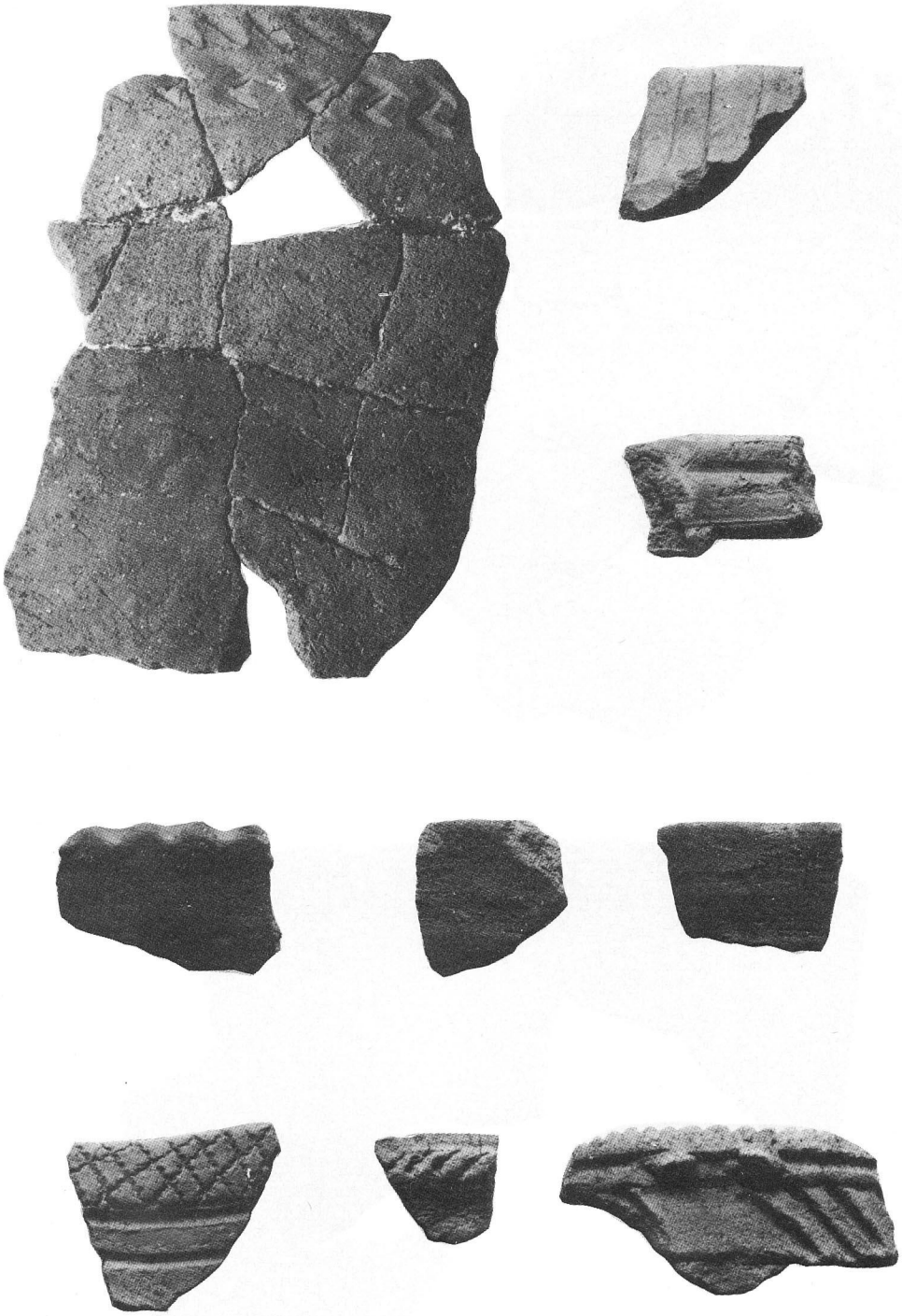
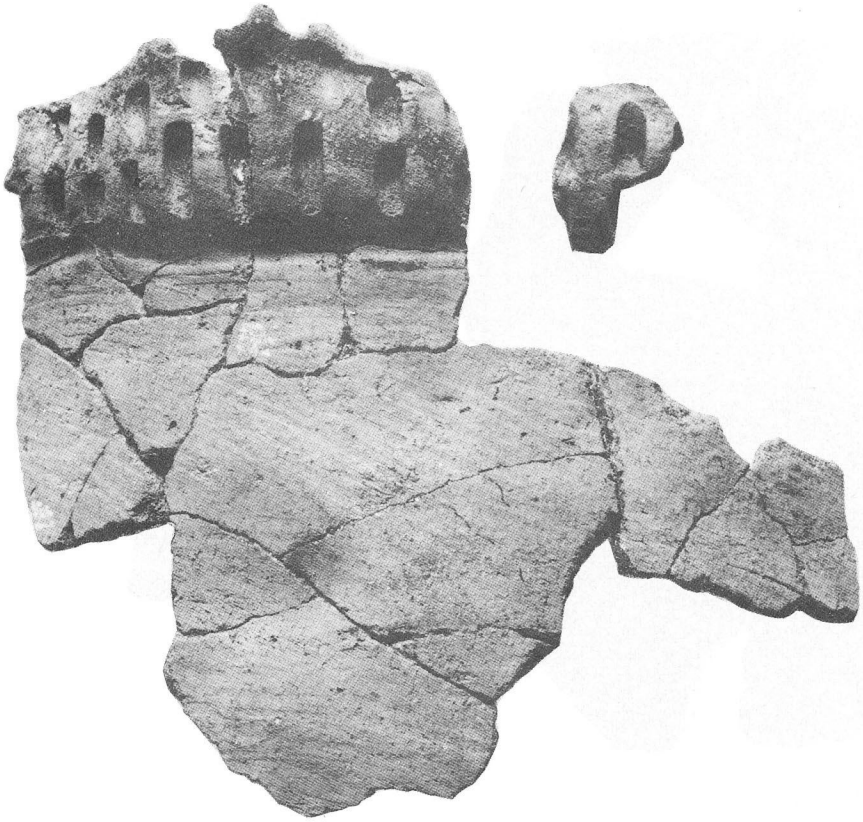
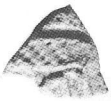


土器 (2)

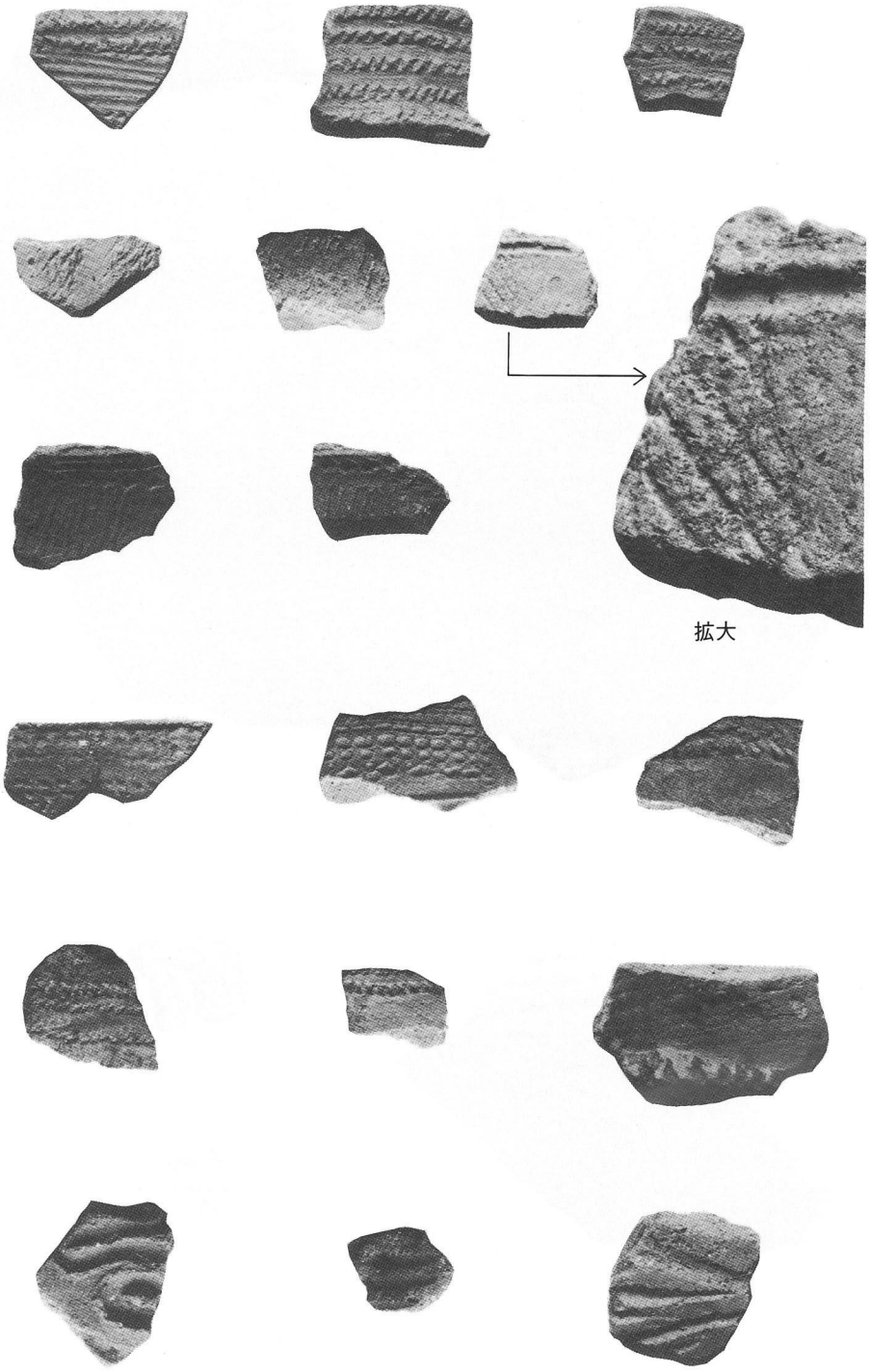


土器 (3)



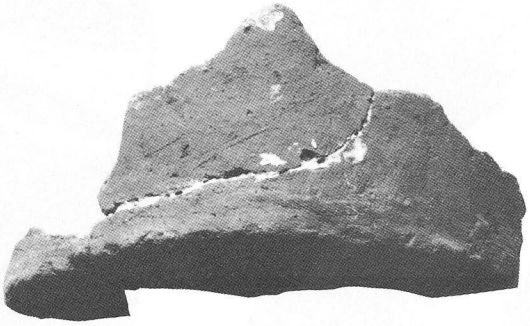
土器 (4)

図版9



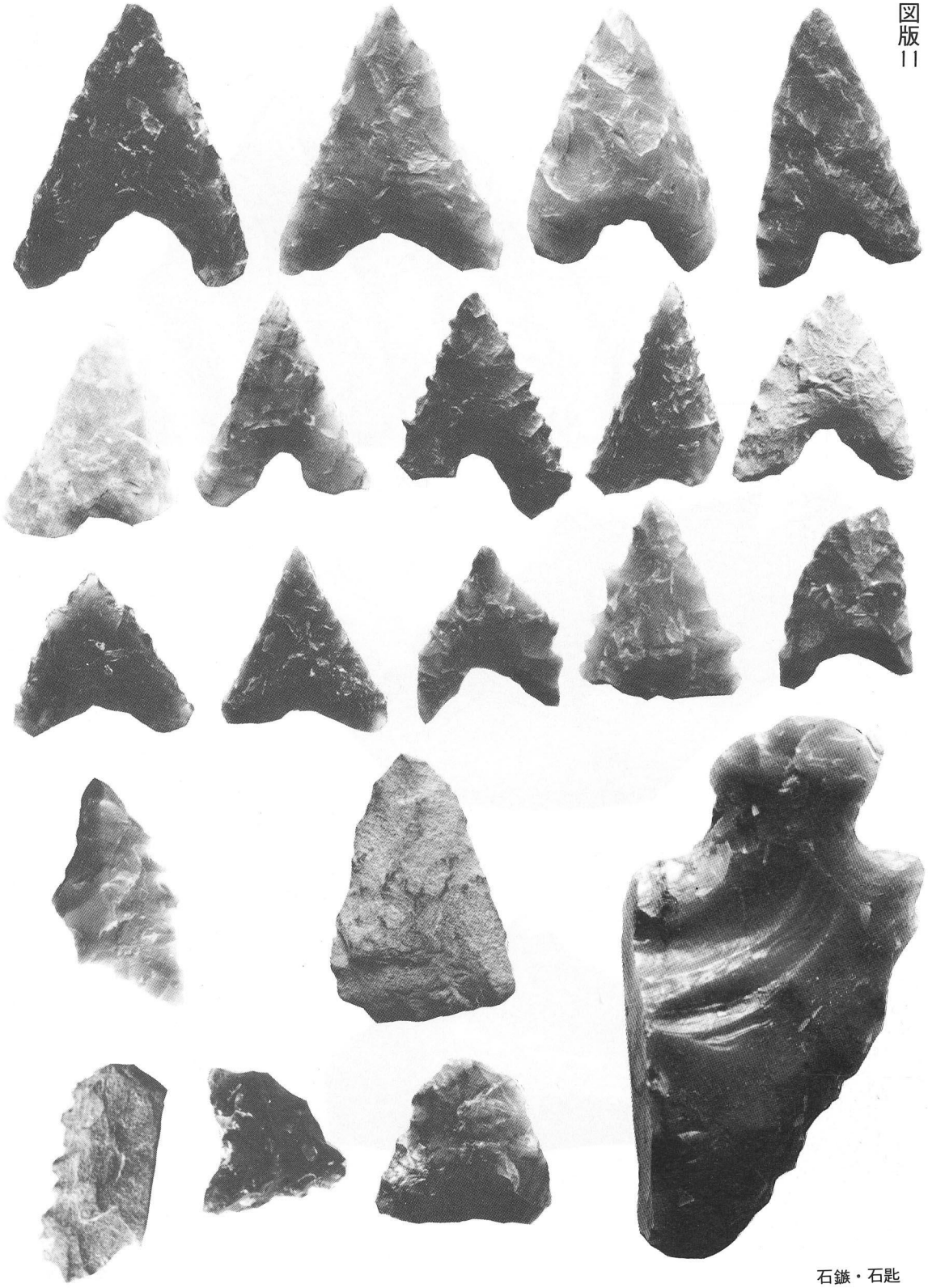
土器 (5)

拡大



土器 (6)

図版11



石鏃・石匙

九州縦貫自動車道埋蔵文化財

—発 掘 調 査 報 告 書—

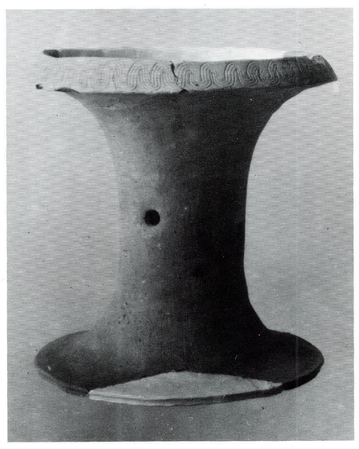
（3）

発　行　昭和55年3月31日
宮崎県教育委員会

編　集　宮崎県教育庁文化課

印　刷　合資会社愛文社印刷所

九州縦貫自動車道埋蔵文化財
発掘調査報告書（付図）



昭和55年３月

宮崎県教育委員会

●九州縦貫自動車道遺跡の概要

はじめに

九州縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査は、日本道路公団の委託を受けて、宮崎県教育委員会が実施したものである。

昭和47～48年度にえびの・高原間10遺跡について、昭和51～53年度に高原、宮崎間11遺跡及び鹿児島線えびの市前畑遺跡の12遺跡について、合計22遺跡の発掘調査を行なった。

この文化財地図は、22遺跡の調査結果概要を報告するとともに、県内の主な文化財について記載することによって、九州縦貫自動車道関係遺跡のより一層の理解を深めることを目的として作成したものである。

２．九州縦貫自動車道遺跡

第１期工事えびの～高原間は、えびの市、小林市、高原町を通過する。

霧島火山群の山麓にあたるこの地域一帯は、広々とした草原地、広大な畑や田園が広がり、古代から人々の生活が営まれてきた。従って縄文、弥生、古墳文化各時代の遺跡及び城跡、古戦場、関跡、寺跡等歴史時代の史跡が多いが、地下式横穴が広く分布することを特色とする。

自動車道建設帯には、えびの市の灰塚、鳥越、久見迫、馬頭、小木原の５遺跡、小林市の平木場、こまくりげ、鷹巣原、竹山の４遺跡、高原町の立山遺跡の10遺跡がかかることになり、発掘調査により記録保存を行なった。

第２期工事の高原～宮崎間は、高崎町、山田町、都城市、高城町、山之口町、田野町、清武町、宮崎市を通過する。この間は霧島火山群の噴火により形成された高原状の都城盆地、降雨量の多いことで知られる青井岳、鰐塚の両山地そして、田野の火山灰台地、宮崎平野よりなる。

自動車道建設帯には、高崎町の鳥井原、上所迫、栗巣上原、下原、今村の５遺跡、山田町の牛谷遺跡、都城市の丸谷第１、第２遺跡、田野町の黒草遺跡、清武町の小原、城内遺跡及び鹿児島線のえびの市前畑遺跡が所在した。これら12遺跡は、えびの～高原間同様、県が道路公団から委託を受け発掘調査を行なった。

●えびの～高原間遺跡（小林市）

１．こまくりげ遺跡

小林市の南西出ノ山公園を望む段丘にある凹地状の遺跡である。地層は地表より黒色土（Ⅰ層）、漆黒色土（Ⅱ層）、黄褐色土（Ⅲ層）、黒褐色土（Ⅳ層）、淡黄褐粘質土（Ⅴ層）、赤褐色土（Ⅵ層）からなる。遺物はⅡ層から土師器及び須恵器片、Ⅳ層から縄文土器片が出土した。

土師器は高台を有し精製された小形の土師器、土器内面に布痕のある手づくねの碗形状土器、それに大形で器面調整のやや荒い壷形土器の３種で、縄文土器は晩期黒色研磨土器、後期の市来式土器、市来式系土器、岩崎上層式土器の４種であった。

▲竹山遺跡出土　布目圧痕土器

２．竹山遺跡

霧島岑神社は小林市の南西約４kmの地にあるが、竹山遺跡は神社にほど近い丘陵遺跡で弥生土器の散布地として知られていた。

当遺跡は発掘地域等の制約により出土土器の層位的編年までいかなかった。しかし弥生終末式とみられる絡縄凸帯土器、布痕土器の出土をみ、こ種の土器の解明の手がかりを見出している。

●高原～宮崎間遺跡（都城市）

▲第１号住居跡

丸谷第１遺跡

都城市の北々東約10km、丸谷川を望む台地上の遺跡である。この遺跡からは２棟分の住居跡が発見された。１号住居跡は１辺７ｍの方形プランで、幅１ｍのベッド状遺構及び３方に張り出し部分を、２号住居跡は１辺８ｍの隅丸方形プランで、２方に張り出し部分を有していた。又１、２号共に炉跡の落込み部分を検出している。

遺物は弥生末期のもので、甕、鉢、高杯、壷形土器、砥石や石包丁などの石器、鉄鏃等を出土した。なお１号住居跡からガラス製小玉、管玉、２号住居跡から線刻のある壷形土器が発見されている。

▲出土土器

●えびの～高原間遺跡（えびの市）

馬頭地下式横穴出土品（馬具類）

１．久見迫遺跡

池島川に沿う台地上の遺跡で地下式横穴10基と土坑１基が発見された。

当地下式横穴は黄褐色のローム層から褐色の粘土質層の中に竪穴式前室(竪坑)羨道(横坑)、玄室(埋葬部)が設けられ、羨道入口は粘土塊で塞がれていた。人骨は１体又は２体葬られており、副葬品は刀子、鉄鏃と、中に蛇行形剣や轡(くつわ)、雲珠(うず)等の馬具を葬ったものがあった。

土坑は馬と馬具を葬ったもので全国でも稀有の例とされた。

▲馬　鐸

２．小木原遺跡

小木原古墳（円墳）１基が工事にかかるため調査されたが、須恵器、土師器片の出土のみで埋葬部が発見されなかったので、更に発掘した結果地下式横穴の所在が確認された。地下式横穴に高塚墳を伴うのは特殊な例である。

竪穴式前室は馬蹄形状をしており、羨道は扁平な安山岩質の板石で閉塞されていた。

３．馬頭遺跡

久見迫遺跡と同じく池島川の河岸段丘にある遺跡で、同地に古くから建立されている馬頭観音が遺跡名となった。この遺跡からは地下式横穴14基、土坑１基、土器包含地が発見された。

地下式横穴の構造は久見迫と同じであるが、馬具の埋葬横穴数は馬頭の方が多い。地下式第１号墳からは勾玉、馬鐸、剣、刀、刀子、杏葉、轡、雲珠、鉄鏃の出土をみたが、勾玉の地下式横穴からの出土はえびの市では初めてである。

４．灰塚遺跡

灰塚遺跡はえびの市役所の南西、川内川に注ぐ支流長江川の西岸台地上にあり、縄文、弥生、古墳３時代にわたる複合遺跡である。

この遺跡の特色は地下式板石積石室３基の発見にある。円筒状に掘り下げた直径約２ｍの穴の周囲に安山岩を立てめぐらし長めの石を持ち送り方式で屋根をドーム状、上から見れば菊花状にふいたもので、石室内から人骨及び剣、鉄鏃が出土した。

▲灰塚遺跡

地下式横穴は竪穴式前室上部を蓋石でおおうこと、玄室床面はシラスがまかれていること、遺物は刀、剣、鉄鏃等に限られていることが、久見迫、馬頭遺跡と異なる。

５．前畑遺跡（えびの市）

前畑遺跡は京町温泉の南西、鹿児島県境の高台上の遺跡である。

遺跡上層の黒土層からは「鐘ヶ崎式」と言われる浅鉢形土器、縄文中期「阿高式」の流れをくむ深鉢形土器等の出土をみ、下層のアカホヤ下からは、細片ではあるが撚糸文と縄文を有する「塞ノ神式」、刻目隆起文を有する「轟式」、他に「曽畑式」の土器の出土をみた。

遺構としてはゆるやかな傾斜地に東西にのびる溝状遺構の検出をみたが単なる溝、中世の柵列、木馬道等の見解が出ている。

●高原～宮崎間遺跡（清武町）

◀▼城内遺跡

城内遺跡

清武川を眼下に望む自然の要害に清武城跡（清武駅の北西約２km）がある。この城跡より一段低い平坦地が城内遺跡である。

遺構として河原石や凝灰岩で積まれた石垣や20m に及ぶＶ字状溝及び柱穴が多数発見されたが、清武城と関連のある遺構か寺跡かどうかは明確にされなかった。

遺物としては、青磁、白磁、染付の磁器片が多数、それに洪武通宝、永楽通宝の銅銭、刀や刀子の残片が出土した。又土錘が多く出土したが、魚網用か馬の尻がい用か論議を呼んだ。

●九州縦貫自動車道遺跡一覧

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物
1	前畑遺跡	えびの市	縄文	縄文式土器、石鏃、
2	灰塚遺跡	えびの市	縄文～古墳	地下式古墳17基 地下式板石積石室３基
3	鳥越遺跡	えびの市	弥生～古墳	弥生式土器ほか
4	小木原遺跡	えびの市	古墳	地下式古墳２基 （馬具、鏡、剣、須恵器）
5	久見迫遺跡	えびの市	古墳	地下式古墳10基（刀、鉄鏃）
6	馬頭遺跡	えびの市	古墳	地下式古墳３基 （刀、剣、馬具、鉄鏃）
7	平木場遺跡	小林市	縄文～古墳	縄文式土器、弥生式土器 石器
8	駒栗毛遺跡	小林市	縄文、古墳	土師器、須恵器、縄文土器 石器、
9	竹山遺跡	小林市	弥生～古墳	弥生式土器、布痕土器
10	鷹巣原遺跡	小林市		層位確認
11	立山遺跡	高原町		層位確認
12	鳥井原遺跡	高崎町	弥生	弥生式土器
13	上所迫遺跡	高崎町	弥生	弥生式土器
14	栗巣上原遺跡	高崎町	縄文～弥生	縄文式土器、弥生式土器
15	下原遺跡	高崎町	縄文～平安	柱穴群、かまど、各種土器
16	今村遺跡	高崎町	弥生	弥生式土器
17	牛谷遺跡	山田町	弥生	層位確認
18	丸谷第２遺跡	都城市	縄文～弥生	縄文式土器、弥生式土器
19	丸谷第１遺跡	都城市	弥生	弥生式土器
20	黒草遺跡	田野町	縄文	縄文式土器、石鏃
21	小原遺跡	清武町	縄文～古墳	縄文式土器、弥生式土器 土師器、須恵器
22	城内遺跡	清武町	縄文～近世	青磁、白磁、刀、土錘 土師器、須恵器

宮崎県の文化財

▲県指定有形文化財　神面（西都市銀鏡神社）

●宮崎県の文化財の特色

宮崎県の文化財の特色は、(1)神話伝承の豊富な宮崎にふさわしく、神像、神面、神鏡にすぐれたものがあること、(2)全国風土記の丘第１号として西都原風土記の丘が世の脚光を浴びたように古墳が多いこと、(3)植物分布上の南限地、北限地が混在しており天然記念物、特に植物の指定物件が多いことにある。

以下種別ごとに本県の文化財を概観してみよう。

▶国指定天然記念物
青島の隆起海床と奇形波食痕

▼特別史跡　西都原古墳群

●史　跡

▲県指定史跡、国分寺跡（西都市）

史跡と一口に言っても、貝塚、遺物包含地、古墳、城跡、古戦場、社寺跡、経塚、関跡、旧宅と実に幅広い。

本県は古代史跡に富み、西都市及び児湯郡に西都原、茶臼原、持田、川南、宮崎市に生目、東諸県郡に本庄、県北延岡市に南方等の古墳群が国の史跡になっている。これら古墳群を構成する５世紀から６世紀にかけて築造された前方後円墳、円墳等は、神話や伝説に彩られる日向の特色を裏づけるかのようである。

また歴史時代の史跡としては、戦国時代島津と伊東の抗争の跡を示す数々の史跡が県内各地に残るが、代表的なものとしては、飫肥城攻めで戦死した伊東の将兵を祀った日南市中ノ尾の供養碑、伊東歿落の原因となった木崎原合戦の戦死者を祀った小林市の伊東塚がある。

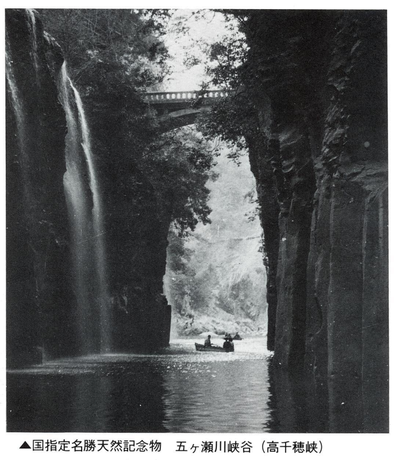
この他、江戸時代の学者安井息軒旧宅(清武町)、新刀正宗とうたわれた刀工田中国広の遺跡(綾町)、名僧古月禅師の分骨塔(佐土原町)、日向国分寺跡（西都市）等の史跡があるが、これらは県の歴史にとってかけがえのないものである。

●名　勝

●本県は「緑と太陽の国」を標傍するように大自然に恵まれた風光のうるわしい県である。東部は黒潮の日向灘に面し、西部は九州山地が走り、南西部は霧島火山群がある。

国、県指定名勝としては、山岳に花崗斑岩からなる比叡山及び矢筈嶽(日之影町・北方町）並びに行縢山（延岡市）、瀑布に神代時代さながらの幽邃さを残す五ケ瀬川峡谷(高千穂町)、尾鈴瀑布群(都農町)、須木の滝（須木村)、島嶼に侵食洞で知られる乙島（門川町)、等があり行楽地として親しまれている。

庭園は尾鈴山系の石英斑岩を懸崖に、また池にいかした日向市の妙国寺庭園、橋口氏庭園、規模は小さいが奇岩と樹木を巧みに配した日南市の勝目氏庭園が名高い。



▲国指定名勝天然記念物　五ヶ瀬川峡谷（高千穂峡）

●有形文化財

◀県指定有形文化財
方格四乳葉文鏡
（西都市銀鏡神社）

紀元前一世紀頃鋳出された漢式倣製鏡で「見日之光天下大明」の八字を鋳出する

古代文化が隆盛した日向の国も時代が下るにつれ、都を遠く離れた僻遠の地であるせいか、各時代の特筆すべき文化遺産は少ない。しかし、神社に伝わる文化財にはすぐれたものがある。高千穂町高千穂神社の鉄造狛犬及び神像、西都市銀鏡(しのみ)神社の神面と方格四乳葉文鏡などである。

又、寺院にも仏画、仏像、梵鐘、雲板、華鬘等の数々の美術工芸品が存する。著名なものとしては佐土原町大光寺の騎獅文珠菩薩像及び乾峯士曇墨跡、国富町万福寺の阿弥陀如来像、宮崎市王楽寺の薬師如来像等がある。

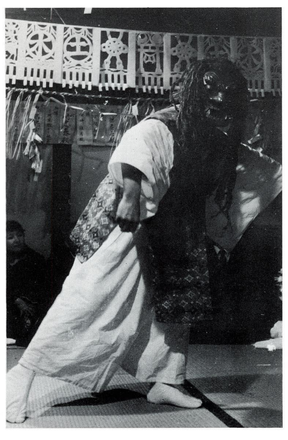
なお、石造六地蔵幢は県内どの市町村にもあり、時代により地域により形態の変化、字体の変化があるので研究者が多い。

●民俗文化財

有形文化財が美術品としての鑑賞性を第一義的なものとすれば、民俗文化財は用と美をかね備えたいわゆる日常性、庶民性を第一義的とする。

本県は総面積の約70％が山地で、ごく最近まで高千穂、米良、椎葉地方は秘境として知られた。これらの地方には、風俗、習慣、郷土芸能に関する民俗学上貴重な資料がよく保存されており、なかでも西都原資料館展示の東米良の狩猟用具27点は重視されている。

又、本県は郷土芸能、民謡の宝庫で椎葉のひえつき節、高千穂のかり干切歌は広く世に知られ、かつ歌われている。神楽はたいていの市町村に伝承されているが、年ごとに神楽宿を定め、夜を徹して舞われる高千穂の夜神楽、狩猟神事を神楽にとり入れた米良神楽は名高い。臼太鼓踊も本県を代表する無形の民俗文化財であるが、西都市下水流のものが知られる。



◀重要無形民俗文化財
高千穂の夜神楽
高千穂地方では、夜神楽を各地区ごとに毎年12月、１月頃、地区の祭として民家を神楽宿に定めて行なう。

●天然記念物

天然記念物の多いことは、九州では福岡県についでいる。植物ではイチョウ、クスの巨樹が多いが、特に分布限界が南と北の合流点の感がするほどで、分布が北にのびるものとしては、日南市鵜戸のヘゴ自生北限地帯、都井岬のソテツ自生地、南にのびるものとしては、小林市のエヒメアヤメ自生南限地帯が知られる。また青島の亜熱帯性植物群落は県外にも知られ島内はジャングルの様相を示している。

▲国指定天然記念物　幸島猿生息地(串間市)

動物ではニホンザルの研究に欠かせない串間市幸島のサル生息地、同じく約70頭の岬馬が野生の状態で生息している都井岬の繁殖地があり、また近年産卵のため日向灘の海浜に上陸するアカウミガメが注目されている。

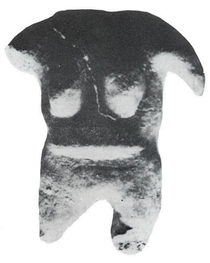
地質鉱物としては、鬼の洗濯岩の別称で知られる日南海岸の隆起海床と奇形波食痕、都城市関の尾の滝口一帯の河床に数百にわたって形成された甌穴群があり、自然の不思議な造形に心打たれる。

●埋蔵文化財

埋蔵文化財は地下に埋蔵されている文化財で、過去における人々の生活を示す遺跡と、当時の人々が使用し放棄された遺物とに分けられる。

前者は集落跡、住居跡、墳墓、神社跡、寺院跡などのように、過去に何らかの構築物のあった場所で、その後の社会の変化により痕跡をとどめるだけとなったものである。後者はこれらの遺跡から出土する当時の人々が使用した物品で、石器、土器、木器、骨角器、金属器などである。

埋蔵文化財はこれら遺跡と遺物を総称していうが、埋蔵文化財から指定文化財になったものとしては、陣内遺跡(高千穂町)、本田遺跡(小林市)、下弓田遺跡（串間市）、国分寺跡（西都市）等がある。

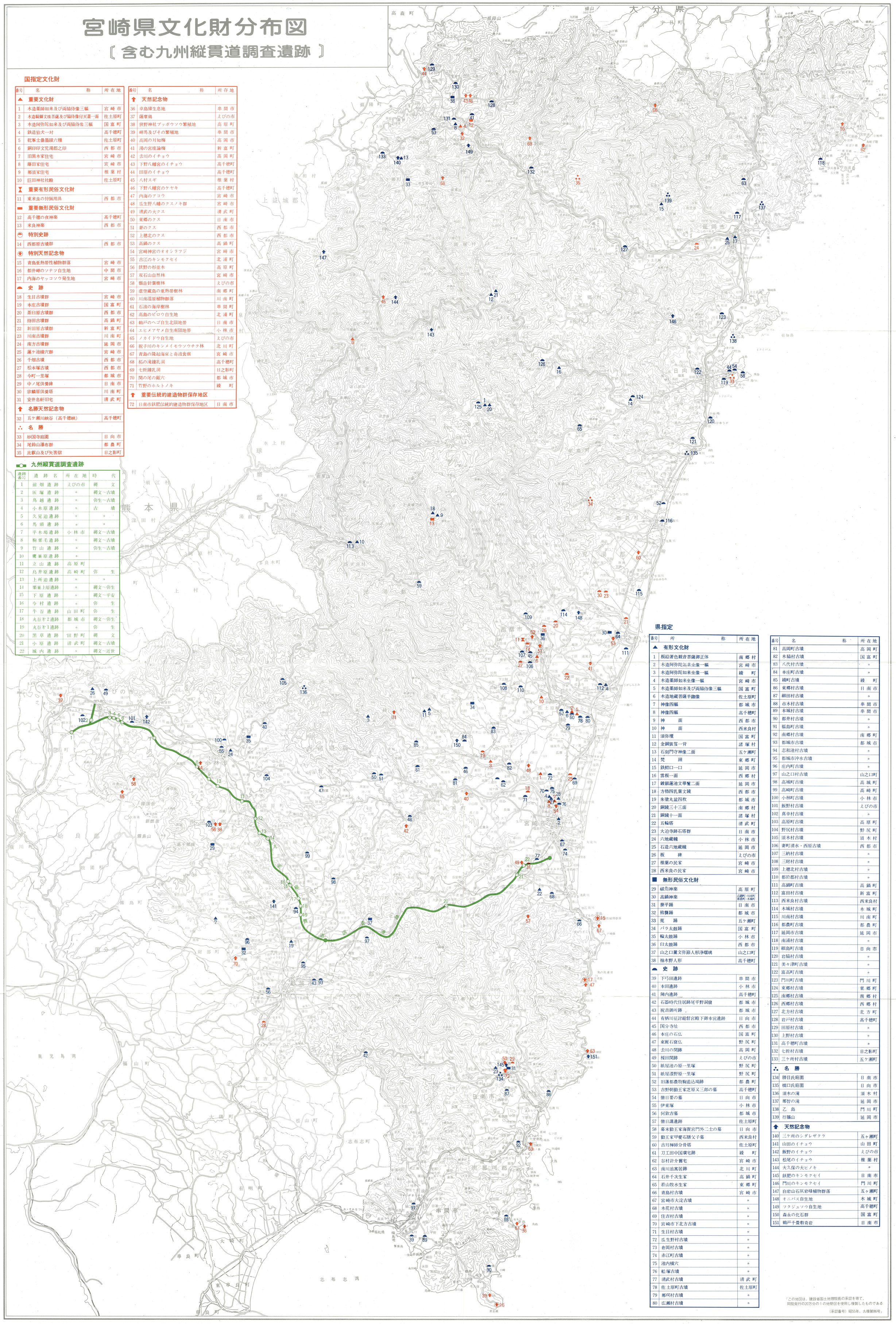


▲県指定「陣内遺跡」出土土偶
頭部を欠損しているが、妊娠中の女性をかたどった土偶である。

▲県指定「下弓田遺跡」出土土器
縄文時代後期の大型壺で、口縁部の貝殻文様がよい。

宮崎県文化財分布図

〔 含む九州縦貫道調査遺跡 〕



国指定文化財

番号	名称	所在地
▲	**重要文化財**	
1	木造薬師如来及び両脇侍像三軀	宮崎市
2	木造騎獅文殊菩薩及び脇侍像付天蓋一面	佐土原町
3	木造阿弥陀如来及び両脇侍像三軀	国富町
4	鉄造狛犬一対	高千穂町
5	乾峯士曇墨蹟六種	佐土原町
6	銅印印文児湯郡之印	西都市
7	旧黒木家住宅	宮崎市
8	藤田家住宅	宮崎市
9	那須家住宅	椎葉村
10	巨田神社社殿	佐土原町
⌛	**重要有形民俗文化財**	
11	東米良の狩猟用具	西都市
▬	**重要無形民俗文化財**	
12	高千穂の夜神楽	高千穂町
13	米良神楽	西都市
◓	**特別史跡**	
14	西都原古墳群	西都市
❀	**特別天然記念物**	
15	青島亜熱帯性植物群落	宮崎市
16	都井岬のソテツ自生地	串間市
17	内海のヤッコソウ発生地	宮崎市
☗	**史跡**	
18	生目古墳群	宮崎市
19	本庄古墳群	国富町
20	茶臼原古墳群	西都市
21	持田古墳群	高鍋町
22	新田原古墳群	新富町
23	川南古墳群	川南町
24	南方古墳群	延岡市
25	蓮ケ池横穴群	宮崎市
26	千畑古墳	西都市
27	松本塚古墳	西都市
28	今町一里塚	都城市
29	中ノ尾供養碑	日南市
30	宗鱗原供養塔	川南町
31	安井息軒旧宅	清武町
⬆	**名勝天然記念物**	
32	五ケ瀬川峡谷（高千穂峡）	高千穂町
∴	**名勝**	
33	妙国寺庭園	日向市
34	尾鈴山瀑布群	都農町
35	比叡山及び矢筈獄	日之影町

番号	名称	所存地
⬆	**天然記念物**	
36	幸島猿生息地	串間市
37	薩摩鶏	えびの市
38	狭野神社ブッポウソウ繁殖地	高原町
39	岬馬及びその繁殖地	串間市
40	高岡の月知梅	高岡市
41	湯の宮座論梅	新富町
42	去川のイチョウ	高岡町
43	下野八幡宮のイチョウ	高千穂町
44	田原のイチョウ	高千穂町
45	八村スギ	椎葉村
46	下野八幡宮のケヤキ	高千穂町
47	内海のアコウ	宮崎市
48	瓜生野八幡のクスノキ群	宮崎市
49	清武の大クス	清武町
50	東郷のクス	日南市
51	妻のクス	西都市
52	上穂北のクス	西都市
53	高鍋のクス	高鍋町
54	宮崎神宮のオオシラフジ	宮崎市
55	古江のキンモクセイ	北浦町
56	狭野の杉並木	高原町
57	双石山自然林	宮崎市
58	甑岳針葉樹林	えびの市
59	虚空蔵島の亜熱帯樹林	南郷町
60	川南湿原植物群落	川南町
61	石波の海岸樹林	串間町
62	高島のビロウ自生地	北浦町
63	鵜戸のヘゴ自生北限地帯	日南市
64	エヒメアヤメ自生南限地帯	小林市
65	ノカイドウ自生地	えびの市
66	祝子川のキンメイモウソウチク林	北川町
67	青島の隆起海床と奇波食痕	宮崎市
68	柘の滝鐘乳洞	高千穂町
69	七折鐘乳洞	日之影町
70	関の尾の甌穴	都城市
71	竹野のホルトノキ	綾町
⬆	**重要伝統的建造物群保存地区**	
72	日南市飫肥伝統的建造物群保存地区	日南市

九州縦貫道調査遺跡

遺跡番号	遺跡名	所在地	時代
1	前畑遺跡	えびの市	縄文
2	灰塚遺跡	〃	縄文～古墳
3	鳥越遺跡	〃	弥生～古墳
4	小木原遺跡	〃	古墳
5	久見迫遺跡	〃	〃
6	馬頭遺跡	〃	〃
7	平木場遺跡	小林市	縄文～古墳
8	駒栗毛遺跡	〃	縄文～古墳
9	竹山遺跡	〃	弥生～古墳
10	鷹巣原遺跡	〃	
11	立山遺跡	高原町	
12	鳥井原遺跡	高崎町	弥生
13	上所迫遺跡	〃	〃
14	栗巣上原遺跡	〃	縄文～弥生
15	下原遺跡	〃	縄文～平安
16	今村遺跡	〃	弥生
17	牛谷遺跡	山田町	弥生
18	丸谷才２遺跡	都城市	縄文～弥生
19	丸谷才１遺跡	〃	弥生
20	黒草遺跡	田野町	縄文
21	小原遺跡	清武町	縄文～古墳
22	城内遺跡	〃	縄文～近世

県指定

番号	所称	所在地
▲	**有形文化財**	
1	板絵著色観音菩薩御正体	南郷村
2	木造阿弥陀如来坐像一軀	宮崎市
3	木造阿弥陀如来坐像一軀	綾町
4	木造薬師如来坐像一軀	宮崎市
5	木造薬師如来及び両脇侍像三軀	国富町
6	木造地蔵菩薩半跏像	佐土原町
7	神像四軀	都城市
8	神像四軀	高千穂町
9	神面	西都市
10	神面	西米良村
11	須弥壇	国富町
12	金銅袈裟一背	諸塚村
13	石刻門守神像二面	五ケ瀬町
14	梵鐘	東郷町
15	鉄鰐口一口	延岡市
16	雲板一面	西郷村
17	鍍銀蓮池文華鬘二面	延岡市
18	方格四乳葉文鏡	西都市
19	朱塗丸盆四枚	都城市
20	銅鏡三十三面	南郷村
21	銅鏡十一面	諸塚村
22	五輪塔	清武町
23	大迫寺跡石塔群	日南市
24	六地蔵幢	小林市
25	石造六地蔵幢	延岡市
26	板碑	えびの市
27	椎葉の民家	宮崎市
28	西米良の民家	宮崎市
■	**無形民俗文化財**	
29	祓川神楽	高原町
30	高鍋神楽	高鍋町・川南町・都農町・木城町
31	泰平踊	日南市
32	熊襲踊	都城市
33	荒踊	五ケ瀬町
34	バラ太鼓踊	国富町
35	輪太鼓踊	小林市
36	臼太鼓踊	西都市
37	山之口麓文弥節人形浄瑠璃	山之口町
38	柚木野人形	高千穂町
☗	**史跡**	
39	下弓田遺跡	串間市
40	本田遺跡	小林市
41	陣内遺跡	高千穂町
42	石器時代住居跡尾平野洞窟	都城市
43	祝吉御所跡	都城市
44	有栖川征討総督宮殿下御本営遺跡	日向市
45	国分寺址	西都市
46	本庄の石仏	国富町
47	東麓石窟仏	野尻町
48	去川の関跡	高岡町
49	榎田関跡	えびの市
50	紙屋池の原一里塚	野尻町
51	紙屋漆野原一里塚	野尻町
52	旧藩都農牧駒追込場跡	都農町
53	吉野朝勤王家芝原又三郎の墓	高千穂町
54	僧日要の墓	日向市
55	伊東塚	小林市
56	何欽吉墓	都城市
57	僧日講遺跡	佐土原町
58	幕末勤王家海賀宮門外二士の墓	日向市
59	勤王家甲斐石勝父子墓	西米良村
60	古月禅師分骨塔	佐土原町
61	刀工田中国廣宅跡	綾町
62	谷村計介舊宅	宮崎市
63	南川翁寓居跡	北川町
64	石井千次生家	高鍋町
65	若山牧水生家	東郷町
66	青島村古墳	宮崎市
67	宮崎市大淀古墳	〃
68	木花村古墳	〃
69	住吉村古墳	〃
70	宮崎市下北方古墳	〃
71	生目村古墳	〃
72	瓜生野村古墳	〃
73	倉岡村古墳	〃
74	赤江町古墳	〃
75	池内横穴	〃
76	船塚古墳	〃
77	清武村古墳	清武町
78	佐土原町古墳	佐土原町
79	那珂村古墳	〃
80	広瀬村古墳	〃
81	高岡町古墳	高岡町
82	木脇村古墳	国富町
83	八代村古墳	〃
84	本庄町古墳	〃
85	綾町古墳	綾町
86	東郷村古墳	日南市
87	細田村古墳	〃
88	市木村古墳	串間市
89	本城村古墳	串間市
90	都井村古墳	〃
91	福島町古墳	〃
92	南郷村古墳	南郷町
93	都城市古墳	都城市
94	志和池村古墳	〃
95	都城市沖水古墳	〃
96	庄内町古墳	〃
97	山之口村古墳	山之口町
98	高城町古墳	高城町
99	高崎町古墳	高崎町
100	小林町古墳	小林市
101	飯野村古墳	えびの市
102	真幸村古墳	〃
103	高原町古墳	高原町
104	野尻村古墳	野尻町
105	須木村古墳	須木村
106	妻町清水・西原古墳	西都市
107	三納村古墳	〃
108	三財村古墳	〃
109	上穂北村古墳	〃
110	都於郡村古墳	〃
111	高鍋町古墳	高鍋町
112	富田村古墳	新富町
113	西米良村古墳	西米良村
114	木城村古墳	木城町
115	川南村古墳	川南町
116	都農町古墳	都農町
117	延岡市古墳	延岡市
118	南浦村古墳	〃
119	細島町古墳	日向市
120	岩脇村古墳	〃
121	美々津町古墳	〃
122	富高町古墳	〃
123	門川町古墳	門川町
124	東郷村古墳	東郷町
125	南郷村古墳	南郷村
126	西郷村古墳	西郷村
127	北方村古墳	北方町
128	岩戸村古墳	高千穂町
129	田原村古墳	〃
130	上野村古墳	〃
131	高千穂町古墳	〃
132	七折村古墳	日之影町
133	三ケ所村古墳	五ケ瀬町
∴	**名勝**	
134	勝目氏庭園	日南市
135	橋口氏庭園	日向市
136	須木の滝	須木村
137	那智の滝	延岡市
138	乙島	門川町
139	行縢山	延岡市
⬆	**天然記念物**	
140	三ケ所のシダレザクラ	五ヶ瀬町
141	山田のイチョウ	山田町
142	飯野のイチョウ	えびの市
143	松尾のイチョウ	椎葉村
144	大久保の大ヒノキ	〃
145	飫肥のキンモクセイ	日南市
146	門川のキンモクセイ	門川町
147	白岩山石灰岩縁植物群落	五ヶ瀬町
148	オニバス自生地	木城町
149	フクジュソウ自生地	高千穂町
150	森永の化石群	国富町
151	鵜戸千畳敷奇岩	日南市

「この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、
同院発行の20万分の１の地勢図を使用し複製したものである
（承認番号）昭55年、九複第86号」

昭和五十五年三月　宮崎県教育委員会文化課

作製　宮崎市橘通西五丁目六－三九　☎〇九八五（二七）四〇六八　㈱富士マイクロサービスセンター